

イノウエ・竹本・東洋鍛工

長崎に研究・営業拠点開設

ステンレス・高合金流通のイノウエ（本社Ⅱ東京都千代田区、井上浩樹社長）は1日、長崎市に「長崎R&Dセンター・長崎営業所」を開設した。鍛造大手の東洋鍛工（本社Ⅱ東京都大田区、壘へもたい英一社長）と共同で長崎R&Dセンター

を、イノウエグループの管工機材などを扱う竹本（本社Ⅱ神戸市中央区、木村賢児社長）と共同で長崎営業所を設置。航空やエネルギーなどをターゲットに地域密着で需要開拓を目指す。同日開かれた式典であいさつした井上社長は「地域への貢

献や強靱なサプライチェーンの構築を目指す」と述べた。

イノウエは近年、地域に根差した営業を強化しており、日立（茨城県日立市）、下松（山口県下松市）、神戸（神戸市中央区）、広島（広島市南区）に営業所を展開する。これに長崎

が加わった。以前から長崎県内に取引先が多く、その取引先の中には航空・カーボンニュ

ートラル関連の取引先も多いことから、拠点の開設を決めた。竹本の木村社長は「当社も

長崎のお客さまが多く、近年案件が増えていた。優れた製造技術を持つお客さまとも

に開発から協力しながら、腰を据えて営業していきたい」として、イノウエとともに長崎営業所を開設した。

東洋鍛工はステンレスや非鉄金属のスクリーン鍛造に強みを持つ鍛造大手。製造拠点は茨城県龍ケ崎市にあるが「設計の対応などお客さまの近くで、スピーディーに対応することが重要」（壘社長）として、商社としてサポートするイノウエと共

同で、研究開発拠点を設置。東洋鍛工は航空分野への参入を進めており、長崎県内の需要家に対し、同社で鍛造した製品を提供することを目指す。今後は生成AIを取り入れた設計や、大学や研究機関との開発分野での連携を推進する。壘社長は航空分野について「すでに進行中の案件もあり、年内の生産開始を目指す」としている。3社が拠点を開設し

たのは、長崎市の「ながさき出島インキュベータ（D-FLAG）」で、中小企業基盤整備機構が運営し、長崎大学、長崎総合科学大学、長崎県立大学などの県内の大学と連携して新事業の創出育成を図る施設。長崎R&Dセンター・長崎営業所の住所は以下の通り。

▽長崎市出島町1-43ながさき出島インキュベータ（D-FLAG）2階



左からイノウエの井上社長、東洋鍛工の壘社長、竹本の木村社長①、長崎R&Dセンター・長崎営業所